



## スカイツリーで初の自衛隊PR

自衛隊東京地方協力本部江東出張所（所長 江越3海佐）は9月12日、東京スカイツリータウンにおいて、東京都隊友会墨田支部の支援を受け、「タウンソラマチイベント」に参加した。

本イベントは自衛隊の車両・装備品等で「親子が喜んだり、来場者や観光客の興味が湧くようなイベントができないか」という当該施設からの提案を受けて初めて実現したものである。ソラマチひろばに出展した広報ブースでは、新型コロナウイルス感染症予防処置を講じて、自衛隊の災害活動のパネルや第1普通科連隊の偵察用バイク、軽装甲機動車を展示するとともに、広報官による自衛官採用のための個別相談を行った。

来場者の中には隊員による装備品の説明に聞き入る人や、展示品と記念撮影する家族連れの姿も見られた。「コロナ禍でイベントがない中、自衛隊車両を展示してくれて嬉しい」「雑誌MAMORのイベント情報欄で開催を知って訪れたが、自衛隊の話聞いて良かった」「ブルーインパルスの飛行を墨田区上空で見て自衛隊に興味を持った」「大変な日々が続きますが頑張ってください」等の声も聞かれた。

江東出張所は、今後も地域に密着した広報活動を実施するとともに、部隊等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する国民の理解と関心を深め、自衛官等募集の業務に繋げていくとしている。



## 百里基地でパイロットと懇談

自衛隊東京地方協力本部新小岩募集案内所（所長 高倉2陸尉）は9月29日、航空自衛隊百里基地（茨城県小美玉市）において募集対象者20名に対し、部隊見学を実施した。

まず、百里基地広報館において百里基地の任務や所在部隊などの概要を理解した後、F-2戦闘機の展示説明を受けた。参加者は順にコックピットの操縦席に座り、それぞれにパイロット気分を味わっていた。

午後からはF-2戦闘機、UH60Jのパイロットと、質疑応答を中心とした懇談が行われた。「パイロット勤務の中で、どのようなところが大変ですか」「手当はどのくらいつきますか」「英語の能力はどれくらい必要ですか」などの問いに分かりやすい言葉で丁寧に回答し、参加者からは「普段聞けない話が聞けて良かった」等の感想が聞かれた。

新小岩募集案内所では引き続き募集対象者のニーズを踏まえた各種イベントを企画し部隊等と連携して自衛隊の任務の重要性を広報するとともに、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げていくとしている。

